



令和6年度 諫早市立小野中学校 学校便り 第13号

【小野中HP】

# わかばと



校訓：自主・積極

令和7年2月14日

学校教育目標：自他を認め、共に高め合う生徒の育成

校長 西山 敏明

新制服ワッペン  
若鳩と小野平野の稲穂がモチーフ

## 寒さ厳しき折、学びのまとめと新たなステージへの挑戦

2月3日の立春が過ぎ、暦の上では春を迎えましたが、まだまだ寒い日が続いています。先週は日本列島に10年に一度と言われる大寒波が到来し、長崎県内でも降雪や凍結による影響が出ました。2月5日（水）は市内全小中学校が休校となり、翌日の6日（木）も小野小学校と連携して2時間遅れでの始業とさせていただきます。ご家庭でも、寒さ対策や登下校への配慮などご協力いただきありがとうございました。



さて、生徒たちは1年間のまとめの時期を迎え、3日、4日には、本年度最後の定期テストである学年末テストを全学年で実施しました。生徒にとっては、1年間の学習の成果を発揮する大事な機会であり、みんな真剣に解答に臨む姿がありました。2月中には、1月に実施した「標準学力テスト（1、2年）」の結果も届く予定です。今回の学年末テストとあわせて、学力の定着についてご家庭でも確認いただきたいと思います。

また、来週18日、19日には、3年生にとっては公立高校の一般選抜が実施されます。（本年度から、公立高校入試の日程が早まりました。）これまで努力してきた成果を発揮し、落ち着いて試験、面接に臨んでください。教職員一同、皆さんの健闘を心から応援しています。

## 10月以降の文化・スポーツの受賞者を紹介します。

【第49回「ごはん・お米とわたし」作文コンクール（10/1）】	【第25回諫早市中学生・高校生文芸コンクール（2/1）】
「長崎県農業協同組合中央会会長賞」（2年）	中学生 随筆の部
【令和6年度JA共済書道コンクール半紙の部（10/25）】	「優秀賞」（2年）（2年）
「銅賞」（1年）	「奨励賞」（2年）（2年）
【令和6年度諫早市中学1年生バスケットボール大会（11/4）】	中学生 詩の部
「優勝」女子バスケットボール部	「優秀賞」（1年）（2年）
「優秀賞」（1年）	「奨励賞」（1年）（1年）
【第19回長崎県中学校総合文化祭 11/20】	中学生 短歌の部
「デザインの部」（1年）	「奨励賞」（2年）（2年）
「書の部」（2年）	中学生 俳句の部
【令和6年度野菜たっぷり料理コンテスト 11/25】	「優秀賞」（3年）
「諫早市食生活改善推進協議会長賞」（3年）	「奨励賞」（3年）
【令和6年度度心の輪を広げる体験作文コンクール 12/3】	
「長崎県知事賞」（1年）	



### 3月の予定

4日（火）生徒会行事	17日（月）公立高校チャレンジ選抜合格者発表
5日（水）公立高校一般選抜合格者発表	18日（火）専門委員会
6日（木）諫早市連合生徒会	20日（木）春分の日
7日（金）第5回地区生徒会	21日（金）大掃除・生徒会集会・表彰伝達
11日（火）第78回卒業証書授与式	24日（月）修了式・離任式
12日（水）公立高校チャレンジ選抜	
16日（日）家庭の日 部活動中止	

### 3月来校予定日

○スクールカウンセラー（林田先生）
5日（水）
○心の相談員（平間先生）
6日（木）、11日（火）、13日（木）、
17日（月）、18日（火）、24日（月）
○ALT（スチュアート先生）
5日（水）、12日（水）、19日（水）

# 令和6年度 第2回「学校評価アンケート」結果をお伝えします。

回答数 教員:16 生徒:109 保護者:79 ※目標値3.2(80%)以上

評価項目	番号	評価内容	職員			生徒			保護者		
			R5	R6		R5	R6		R5	R6	
			2回	1回	2回	2回	1回	2回	2回	1回	2回
地域とのかかわりについて	1	地域でのあいさつ	3.2	3.0	3.1	3.5	3.4	3.4	2.9	2.9	2.9
	2	地域行事への参加	3.2	3.1	3.1	2.9	2.7	2.7	2.9	2.9	2.9
	3	地域への関心	3.2	3.1	3.3	2.8	2.7	2.6	2.7	2.7	2.6
	4	学校だより等での情報発信	3.5	3.8	3.8	3.4	3.3	3.3	3.3	3.2	3.4
	5	職員の地域活動等への参加	3.1	2.9	3.1				3.2	3.2	3.3
	6	職員の地域との関り	3.1	3.2	3.3						
生き方の学習について	7	進路指導・進学指導への取組	3.3	3.4	3.4	3.3	3.4	3.2	3.4	3.1	3.1
	8	将来に関わる講話や体験活動	3.3	3.5	3.6	3.2	3.3	3.3	3.0	3.2	3.1
	9	夢や希望を促す取組	3.3	3.4	3.5	3.2	3.0	3.1	2.9	2.9	2.8
	10	将来に向けての礼儀作法やマナー指導	3.3	3.6	3.6	3.4	3.5	3.4	2.9	3.0	3.0
学力の向上について	11	授業の「めあて」の提示	3.2	3.1	3.3	3.6	3.6	3.5			
	12	授業の「まとめ」「振り返り」の場の設定	3.1	3.1	3.0	3.3	3.4	3.3			
	13	授業の見通しの提示				3.4	3.4	3.4			
	14	わかりやすい言葉やICTの活用	3.1	3.2	3.1	3.4	3.4	3.3			
	15	思考・グループ活動の場の設定	3.1	3.1	3.1	3.6	3.6	3.4			
	16	自主学習ノートの取組				3.1	3.3	3.0			
	17	「きくこと」を意識した授業参加				3.4	3.4	3.3			
	18	身につけさせたい学力の明示	3.1	3.3	3.3				2.9	3.0	3.0
	19	学力向上のための取組の明示							2.9	3.0	2.9
	20	学力向上のための家庭・小学校との連携	2.9	3.1	3.1						
	21	学力向上にかかるデータの活用	3.3	3.1	3.1						
	22	家庭学習の仕方の提示							2.9	2.8	2.8
	23	「小野中スマホルール」の遵守				3.1	3.1	3.0	2.4	2.7	2.6
一人一人を大切に する指導について	24	一人一人への観察				3.3	3.3	3.3			
	25	不安や悩みの理解	3.3	3.2	3.4	3.3	3.3	3.2	3.0	3.0	3.0
	26	性格や特性にあった指導	3.3	3.4	3.3	3.2	3.3	3.2	3.1	3.0	3.0
	27	ほめて認める指導	3.4	3.5	3.6	3.2	3.4	3.3	3.2	3.1	3.1
	28	教職員・家庭との情報の共有	3.6	3.5	3.8						
	29	家庭での会話							3.1	3.1	3.2
いじめ防止について	30	いじめ防止基本方針の明示、理解	3.4	3.5	3.7				3.1	3.1	3.1
	31	いじめの早期発見	3.4	3.6	3.7	3.4	3.4	3.3	3.0	3.1	3.1
	32	いじめを許さない雰囲気	3.3	3.4	3.3	3.1	3.2	3.2	2.8	3.0	3.0
	33	いじめ対応への理解	3.6	3.4	3.6						
	34	いじめへの発言や行動				3.23	3.3	3.4			
	35	いじめ防止のための環境、相談窓口				3.3	3.4	3.3	3.1	3.1	3.1
生徒会活動について	36	自主的な生徒会活動	3.1	3.1	3.3	3.5	3.4	3.4			
	37	積極的なボランティア活動	3.3	3.1	3.3	3.4	3.3	3.3	3.2	3.1	3.1
	38	生徒会活動による責任感の伸長	3.2	3.3	3.4				3.4	3.2	3.3
	39	人権尊重やいじめ根絶にかかる活動	3.3	3.2	3.4	3.6	3.5	3.4			
	40	生徒会活動による協調性の伸長	3.2	3.3	3.4				3.2	3.1	3.2
	41	生徒会活動への積極的参加				3.4	3.3	3.1	3.3	3.3	3.1

## 1. 地域とのかかわりについて

①生徒・保護者ともに、地域への参画と関心が実感として得られていない。また、職員の手応えとしてもわずかに目標値に及んでいない。

➡(改善に向けて)総合的な学習の時間を中心とした地域学習において、一層の持続可能な地域学習の取組の策が必要である。生徒の頑張りを情報発信の中でより評価できると、保護者にも伝わる可能性がある。

## 2. 生き方の学習について

②目標値を上回る項目が多い中、『9. 夢や希望を促す取り組み』について、生徒・保護者の回答で目標値に達していない。

➡(改善に向けて)教職員が率先して、SDGsに触れながら明るい未来を示していく必要がある。

## 3. 学力の向上について

③生徒の評価は、多くの項目で目標値3.2ポイントは大きく上回っているが、保護者の項目『22. 家庭学習の仕方の提示』と『23. 「小野中スマホルール」の遵守』については、依然として課題となっている。

➡(改善に向けて)引き続き育友会と連携し、生徒指導や学習指導を通じて、生徒・保護者への啓発活動を強化していく。メディア安全指導員を活用した研修などを開催する必要がある。

## 4. 一人ひとりを大切にする指導について

④職員、生徒は、おおむね良好な評価を得ている。特に、職員の『27. ほめて認める指導』において、昨年度及び今年度第1回からもポイントを伸ばしており、各職員が生徒一人一人の個性や頑張りを認めて励ます意識の向上と高さが感じられ、それが生徒にも伝わっていることが見て取れる。

➡(改善に向けて)今後も、生徒の取組を励ましながら自主性を育てていく上で、一人一人の特性の把握が重要である。特別支援部会や生徒指導部会での情報共有、毎月の生活アンケート等により、生徒の実態をできる限り把握する努力を続け、きめ細やかで多角的に生徒ともコミュニケーションを図っていくことが大切だと考える。

## 5. いじめ防止について

⑤『33. いじめ対応への理解』において、昨年度からポイントが上昇しており、生徒への定期的な生活アンケートや教師の言動が、いじめを許さない雰囲気の醸成が伝わってきていると考える。また、教員、生徒は、おおむね良好な評価を得ている。➡(改善に向けて)いじめについては、「どの子どもにも、どの学校においても起こり得る」ものであることを十分認識し、相談しやすい環境づくりを進め、道徳教育や人権教育を中心として心の教育を通して、個性や差異を尊重する態度やその基礎となる価値観を育てる指導を推進する。

## 6. 生徒会活動について

⑥教職員、生徒、保護者ともにほぼ目標値を超えた結果が出ている。しかし、保護者の『37. 積極的なボランティア活動』と、生徒の『41. 生徒会活動への積極的参加』において目標値に達していない。生徒会本部を中心に生徒主導による活動が多くあった中、生徒の「積極的な参加」に課題があると考えられる。

➡(改善に向けて)生徒の活動を軸とした、平和教育や人権教育など多様な活動の機会があったが、まだ、企画する者が、担当の教職員や生徒会顧問中心となっていることが考えられる。担当教職員の負担軽減を図り、生徒の自主性を尊重し、教職員は生徒の伴走者として指導に関わることで、企画段階から生徒が主体的に活動できるように支援する。